

平成30年度 第1回岐阜県生徒指導推進会議の報告について

1 開催日時・場所

平成30年6月8日（金） 午前10時～正午
岐阜県庁11階 教育委員会室

2 組織の概要

平成18年の瑞浪市の事案をきっかけに、地域ぐるみでいじめをなくそうという県民運動を展開するための方法や内容を協議するために設置。

「こどもの居場所と絆づくり県民運動」の推進母体として、年2回の会議等を開催。

3 構成

青少年育成指導者養成関係者、大学関係者、県教育推進会議等代表者、
非行予防・更生関係団体関係者、青少年育成団体関係者、社会教育団体関係者、福祉関係者、
保護者代表者、小・中・義・高・特別支援学校代表者、社会教育行政関係担当者、
人権行政関係担当者、学校教育行政関係担当者（総人数29名・出席者26名）

4 平成29年度「あったかい言葉かけ運動」アニメーション動画視聴

・岐阜各務野高校と多治見北高校の生徒により作成された動画の紹介

5 平成30年度「こどもの居場所と絆づくり県民運動」について

・3つの共通取組「あったかい言葉かけ運動」「居場所と絆づくり交流会」「安心ネット啓発運動」を進めることについて説明。特に「あったかい言葉かけ運動」は地域を巻き込んだ取組への発展を期待。昨年度応募総数は144,484点。

6 岐阜県におけるいじめの状況とその対策について

・いじめの積極的な認知と、組織による対応の必要性について昨年度調査を紹介し提示。

7 県民運動の名称（案）の提案

- ・案①「子どもを地域で守り育てる県民運動 ～いじめをしない！させない！許さない！～」
- ・案②「あったかい言葉かけ運動 ～いじめをしない！させない！許さない！～」
- ・案③「地域ぐるみでいじめの未然防止県民運動～いじめをしない！させない！許さない！～」

※委員からは、案②を推す意見が多かった。第2回の会議にて最終提案し決定する。

8 委員から出された主なご意見

- いじめをされた側が、ヘルプサインを出せるようにしたい。ヘルプサインを出せる子に育てることが課題である。
- 学校でもあったかい言葉かけ運動が定着してきている。いじめ認知件数とその解消率の数値については今後も大切にしていける。いじめを認知して双方の言い分を聞くと、互いの意思疎通のズレによることが多い。そのズレを丁寧に埋めていくことで解消につなげている。あったかい言葉かけ運動は学校だけでなく地域の協力によって成り立っていることが多い。
- 小学校を参観する機会があり、小学校では「よさ見つけ」が行われていた。あったかい言葉かけと同じような取り組みである。かけてもらった言葉のよさが相手に伝わっていることを感じる事ができた取り組みとなっていた。
- 人権教育では3つの力（認識力・自己啓発力・行動力）を大切にしている。あったかい言葉かけはまさに行動化されたものである。
- 昨年度高校生が編集したあったかい言葉かけのDVDについて、「あったかい言葉」が映像と音声で、より伝わりやすくなっていることがよい。
- 子どもの心に届く「あったかい言葉かけ運動」になることがよい。
- 県民運動の名称は、本会議の趣旨を具現するためのものとして考えたい。